

ぱるん 通信

主な記事

- ・まだ間に合います！アンケートにご協力を
- ・アンケートコラボ学習会「働きながらの介護」を開催しました
- ・2018 年度 ぱるん Kids' ウィンタースクール 今年も開催！
- ・学習と交流の会「復興・地域創生への取組における男女共同参画の主流化と実効の評価～岩手県次期総合計画策定を機に～」を開催しました

まだ間に合います！ アンケートにご協力を

10月3日から31日まで、ダイバーシティと働きやすい環境整備をさらに進めていくための手がかりを得るために、2018年度「ダイバーシティに配慮した働きやすい環境整備に関する調査」を実施しています。お忙しい中、すでに回答くださいました教職員の皆さまにお礼申し上げます。調査は次の4問から成っています。

ワーク・ライフ・バランスを支援するために大学が取り組んできた制度の整備や拡充・改善の認知
ワーク・ライフ・バランスを支援するための各種制度等の利用経験
介護を要する家族の有無と介護へのかかわり
仕事をしながら介護をする上の困難、課題

調査結果を制度の運用の改善等につなげていけるよう、回答がこれからの教職員の皆さまには、期限までにご協力をお願いします。

回答期限：**2018年10月31日(水)**

回答はこちらから



アンケートコラボ学習会「働きながらの介護」を開催しました

2018年度「ダイバーシティに配慮した働きやすい環境整備に関する調査」とのコラボレーション企画として、調査間期中の10月10日(水)昼休み、学生センターA棟2階会議室で、学習と交流の会「働きながらの介護」を開催しました。菅原悦子理事の開会挨拶に続き、人事課より、「介護と仕事の両立に関する岩手大学の制度」として、要介護状態の見極めとそれに適した介護休業・介護休暇等制度の選択等について説明を受けました。次いで、盛岡駅西口地域包括支援センター堀内亜希子さん、佐々木裕美さんに「介護に関する出前講座 働きながらの介護～さまざまな状況・事態への対応～」と題し、介護発生前の想定・情報収集、介護発生前後の仕事との両立、事態・状況別のサービスの活用例等についてお話しいただきました。参加者は14名で、参加者アンケートには「具体例がとても分かりやすかった。質疑応答も充実していた」、「起こり得る事態を想定し、必要な情報を得ておくことの大きさを痛感した」、「継続開催を希望する」等の感想が記され、有意義な学習機会となりました。



2018年度 ぱるん Kids' ウィンタースクール 今年も開催！

男女共同参画推進室では、学校の長期休暇中の教職員の子育て支援を目的に、2011年より「ぱるん Kids' スクール」を実施しています。今年度も、冬期休暇中に、以下のとおり「ぱるん Kids' ウィンタースクール」を開催します。ご参加をお待ちしております。

日時 12月25日(月)～26日(火) 両日とも8時10分～17時30分(プログラムは9時～16時)

会場 大学会館2階 第5集会室(プログラムに応じて会場の移動あり)

対象 本学教職員の小学校1～3年生のお子さん・お孫さん

定員 14名(多数の場合は、抽選または話し合いで調整)

費用 材料費実費及び傷害保険料(1,000円程度)

申込み ①保護者氏名・所属、②お子さんの氏名・学年、③連絡先をお書きの上、男女共同参画推進室宛12月11日(火)までにお申込みください。

内容 アート、ニュースポーツ、理科実験、留学生との交流、環境学習など

その他 全体を通じた安全確保を保育団体に依頼し、次世代育成サポーターが運営補助にあたります。



2017年度の開校式

学習と交流の会「復興・地域創生への取組における男女共同参画の主流化と実効の評価～岩手県次期総合計画策定を機に～」を開催しました

岩手大学は、男女共同参画の視点を大切にしたい東日本大震災後の復興をめざし、岩手県に提言を行ってまいりました。県では、現在、2019年度からの10年間を期間とする、次期総合計画の策定が進められています。そこで、次期総合計画の案が公表され、パブリックコメントに付されようとする9月14日（金）に、学習と交流の会「復興・地域創生への取組における男女共同参画の主流化と実効の評価～岩手県次期総合計画策定を機に～」を開催しました。

菅原悦子理事の挨拶・趣旨説明で開会し、まず、岩手県政策地域部加藤真司特命課長、復興局多賀担当課長より、次期総合計画（案）の概要について説明頂きました。これを踏まえ、同志社大学政策学部山谷清志教授に「復興・地域創生への取組における男女共同参画の主流化と実効の評価～岩手県次期総合計画策定を機に～」として、総合計画と政策評価、PDCAとKPI等について講演頂きました。

①計画に政策評価を組み込み、これを活かすにはそのためのシステムとロジックが必要であること、
②男女共同参画の主流化を進めるにはまず男女共同参画推進を政策論として確立する必要があること、
③マネジメント（実施と成果の管理）と評価を混同しないこと、
等が強調されました。

最後に、菅原悦子理事のコーディネイトにより意見交換を行い、本会での議論を次期総合計画（案）へのパブリックコメント提出や組織的提案につなげていくことを確認して会を閉じました。

関東、関西から、また県議会議員を含め34名の参加があり、参加者からは、「地域と行政をアカデミアがつなぐ意義深い機会だった」等の感想が寄せられ、実りある学習交流機会となりました。



第8期次世代育成サポーター6名が認定されました

岩手大学では、子育て中の教職員の両立支援や地域での次世代育成支援活動に携わる学生の育成を目的に、2011年度から次世代育成サポーターの養成を行ってきました。10月25日に、第8期次世代育成サポーターの認定式を行い、2018年度次世代育成サポーター養成講座を修了した6名の学生が学長より認定証書を授与されました。講座（12時間）では子どもと関わるための基礎的な知識とスキルを修得し、続く保育実習（7時間）では、岩手大学・岩手銀行保育所「がんちゃんすくすく保育園」と学童保育クラブで、学齢の異なる子どもたちと触れ合いました。認定後は、学内保育スペース「ばるんひろば」での保育サポートや「ばるんkids' ウィンタースクール」の活動に加え、保育園での保育補助にも力を発揮します。



2018年度秋季オープンキャンパスで女性研究者紹介冊子を配布します

10月27日のオープンキャンパスでは、夏季オープンキャンパスで女性研究者紹介を含むパネル展示が好評だったことを踏まえ、その内容を編集した簡易版冊子「岩手大学で活躍する女性研究者」を作成し、無料配布します。また、「ばるんひろば」では、休日勤務者の子対象の集団託児を実施します。次世代育成サポーターも託児補助を行い、10月25日に認定されたばかりの新人サポーターにとっては、初めての活動となります。



ばるんひろばでの次世代育成サポーターの託児補助

お知らせ

2018年度キャリア形成支援リカレントセミナー 基礎編 「キャリアをつくり、キャリアを活かそうー女性リーダーを育てる」

日時：2018年11月19日（月）15:00～17:00 会場：岩手大学図書館2階 生涯学習・多目的学習室
対象：岩手県内事業所のリーダーとなることが期待される女性社員、職員の方（本学女性職員を含む） 30名
内容：オープニングガイダンス、パネルディスカッション「キャリアをつくり、キャリアを活かす」
申込 お名前・所属・連絡先を、男女共同参画推進室宛お申込みください（11月15日㊄）。

ワーク・ライフ・バランス相談 ばるんひろば定期開放時には相談員が在室します。

学内保育スペース ばるんひろば 随時託児利用（要登録） 定期開放 毎週金曜日 12:00～13:00

利用・登録説明会 毎月第2金曜日 12:10～12:50（事前申込不要）見学も歓迎します。

岩手大学の出産・育児・介護に関する制度 <https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/index.html>